

一 般 質 問

要 旨



みぎの・とわだご中央・十和田湖保育園

平成二十二年度の民営化を目指す

第二回定例会での市政に対する一般質問は、六月十五日、十六日の二日間行われ、

八人の議員が登壇した。温室効果ガスの削減策、水源涵養対策、元気づくり会議、

十和田湖広域観光圏、市立保育所の民営化、北里大学との連携、生ごみの資源化、女性のがん予防策、食育計画など、活発な議論が展開された。要旨は次のとおり

一 般 質 問 者 紹 介

工藤正廣	鳥越正美	竹島勝昭	舛甚英文	堰野端展雄	畑山親弘	杉山道夫	岩城康一郎
------	------	------	------	-------	------	------	-------

(発言順)

総務文教

北里大学との連携構築について

質問

北里大学及び学生会とのこれまでの連携構築の内容と今後について伺いたい。

また、同大学施設が所在する自治体と交流を図ることについての見解を伺いたい。

答弁 平成十八年十月に当市と北里大学で地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とした連携協力

に関する協定を締結した。この協定のもと、これまで十和田湖和牛の品質向上に向けたブランド化を推進

するための産学官連携事業を初め、各種審議会等への教授陣の派遣、市民大学講座などの連携事業を行ってきた。

学生に関しては、当市に転入する学生に対する受け入れ事業の開催、秋祭り等イベントへの参画を促進しており、今後は、当市で学生生活を送る上で発生する諸問題に対応するため、総合的な視点に立って話し合う場も設定していきたい。

これまで築き上げてきた信頼関係をより確かなものとしながら、相互の連携協力のもと、地域経済の活性化に向けた各種施策を展開していくことが重要であり、

大学に関する総合窓口を企画調整課に置き、引き続き

大学との懇談会などを通じて、今後の連携体制や事業のあり方等について検討していきたい。

また、同大学施設が所在する自治体間の交流については、平成十九年度から相模原市と市長同士の交流が行われており、さらに交流の輪を広げていきたい。各自治体間で人、物、情報の活発な交流を行うことは、

地域振興に大きく寄与するものであり、今後は相模原市以外の自治体とも機会を捉えながら、交流について情報発信するなど、前向きに取り組んでいきたい。



旧法奥小学校校舎について

質問 旧法奥小学校校舎は、非常に傷んでおり、美観上、防犯上も早急に解体すべきと思うがいかがか。

答弁 旧法奥小学校校舎は、昭和三十九年に建築され、

築四十五年の建造物であり、老朽化により雨漏り等があるなど、建物の傷みが進んでいる。防犯上からも建物としての利用ができない状況となっていることから、解体撤去する予定である。また、解体撤去後の土地利用は、当面災害時の避難場所等に活用したい。



現在の旧法奥小学校校舎

ふるさと納税について

質問 使途に要望がある寄附の取り扱いについて伺いたい。

また、寄附者に対しての経過や結果報告はどのようなか。

答弁 ふるさと納税による寄附金については、地域振興基金に積み立て、今後寄

附者の意向にも沿いながら、感動・創造都市の実現のための事業に活用していきたい。

また、結果報告等については、今後十分に検討していきたい。

小規模校の今後のあり方について

質問 小規模校の現状の認識と今後のあり方について伺いたい。

答弁 小規模校では、児童一人一人に目が届き、個々に応じたきめ細かい指導ができる等良い点があることや、農村地域において学校は教育施設としてだけではなく、地域の文化、スポーツ、コミュニティ等の拠点としての役割を担っている。しかし、教育効果の点から、小規模校では児童相互の刺激や、良い意味での競争意識が少ないため、自ら行動し、未来を切り開いていくたくましい子供を育てることは容易ではないこともあり、そのような地域にある小規模校については、地域の活性化やまとまりに配慮し、統廃合するなど適正な規模と配置を行っていく必要がある。